



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン経済（10月28～11月5日）

1. 10月28日付『ドンヤーイエ・エグテサード』紙

ザンギャネ石油大臣は、イラン国内のエネルギー開発プロジェクトへの投資について、ヨーロッパ各国企業と交渉中であると述べた。米国企業との交渉の有無についてはコメントを否定している。

2. 10月28日付『イーラーン』紙

オランダ石油企業ロイヤル・ダッチ・シェルは、同社の23億米ドルにのぼる対イラン原油代金支払債務に関して、ザンギャネ石油大臣との交渉を開始した。

3. 10月29日付『ドンヤーイエ・エグテサード』紙

ホセイニー石油大臣顧問は、イランは現在の上流開発契約システム（バイバック）を放棄する可能性があるとして述べた。イランと開発業者の双方に win-win となる契約についての詳細は、2013年3月に英国ロンドンで公表される見込みであることを明らかにした。

4. 10月31日付『ハムシャフリー』紙

イラン統計センターは、ヒジュラ太陽暦1392年メフル月（2013年9月23日～10月22日）におけるインフレ率が、32.3%（前月比4.7%減）になったと発表した。一方、年平均のインフレ率は0.2%上昇して36.2%である。

5. 11月4日付『テヘラン・タイムズ』紙

11月3日に実施されたガス輸出国フォーラム（GECF）の事務局長選挙において、日イラン友好協会のアーデリー会長が選出された。同会長は、イラン中央銀行総裁、駐英・日・カナダ大使を歴任した経験を有する。

6. 11月5日付『ケイハーン』紙

パキスタン石油・天然資源省のアッバーシー大臣は、イラン・パキスタン・ガス・パイプラインの建設を継続することを明らかにした。一方、イランのザンギャネ石油大臣は、パキスタンへの天然ガス供給契約の破棄を示唆し、イラク・オマーン・アラブ首長国連邦などアラブ諸国へのガス供給を新たに考慮していると述べた。